

株主の皆様へ

第107期

報告書 2020年2月1日～2021年1月31日



スバル興業は
2021年2月9日に
創立75周年を迎えました。



スバル興業株式会社

証券コード：9632

株主の皆様へ

2021年2月9日をもちまして創立75周年を迎えることが出来ました。

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社グループの第107期（2020年2月1日から2021年1月31日まで）の経営成績がまとまりましたので、ここに事業の概要等をご報告申し上げます。

また、当社は2021年2月9日に創立75周年を迎えることが出来ました。これもひとえに株主の皆様をはじめ関係各位の長年にわたるご支援の賜物と心から厚く御礼申し上げます。

なお、期末配当につきましては、普通配当に特別配当、記念配当を加え、1株につき240円（中間配当を含めた年間配当金は1株当たり340円）とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2021年4月

取締役社長 **永田 泉治**



財務ハイライト (連結)

経営成績の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、政府による緊急事態宣言が2度にわたり発令される等、社会経済活動が大きく制限されたことにより個人消費が大幅に減少し、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループにおきましても、レジャー事業の業績に多大な影響が及びましたが、主力事業である道路関連事業は、感染予防策を徹底し日常業務の継続に努めたことにより、概ね順調に推移いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は27,460百万円（前期比0.9%増）、営業利益は4,048百万円（前期比1.0%減）、経常利益は

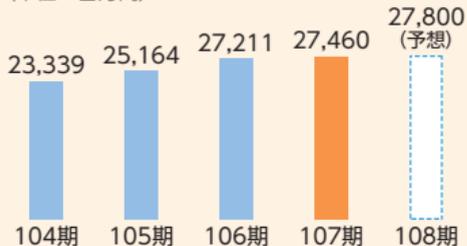
4,121百万円（前期比0.2%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に計上した『銀座スバルビル』の売却益減少や、新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえた個別事業所の業績見通しを精査した結果、一部事業用資産に対する減損損失324百万円を計上したことにより、2,635百万円（前期比17.1%減）となりました。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、売上高27,800百万円、営業利益4,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,640百万円を見込んでおります。

売上高 27,460百万円
(前期比 0.9%増)

(単位：百万円)



営業利益 4,048百万円
(前期比 1.0%減)

(単位：百万円)

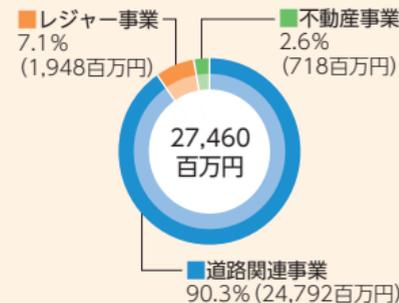


親会社株主に帰属する当期純利益 2,635百万円
(前期比 17.1%減)

(単位：百万円)



セグメント別売上高構成

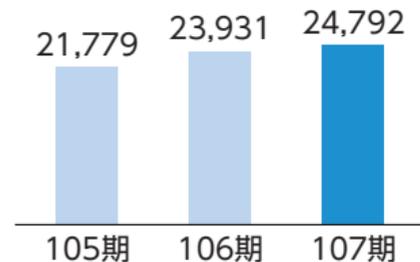


営業の概況

道路関連事業

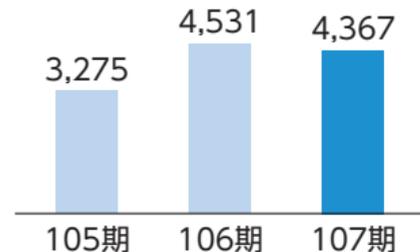
売上高 24,792百万円

(単位：百万円)



セグメント利益 4,367百万円

(単位：百万円)



主な事業

- 道路・橋梁・河川 維持工事
- 道路・河川 保全作業
- 道路環境関連製品の販売
- 有料道路等の売店経営
- 橋梁・構造物等の設計業務
- 太陽光発電事業

道路関連事業は、政府による国土強靱化計画をはじめとした関連予算の執行により、公共投資が堅調に推移しましたが、建設技能者の不足による労務費の上昇や資機材価格の高騰もあり、依然として予断を許さない状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染予防策の徹底により、期中を通し安定した施工体制の堅持に努めました。また、積算精度の向上を図るとともに、維持補修工事等において追加受注に努めた結果、売上高は前期比で増収となりましたが、セグメント利益は業務の効率化や原価管理の徹底による収益性の向上に努めたものの、減益となりました。



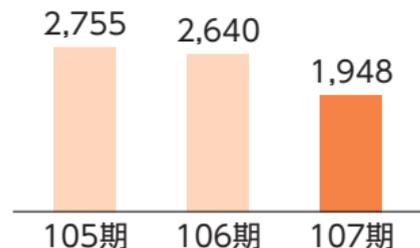
標識板撤去作業

レジャー事業

売上高

1,948百万円

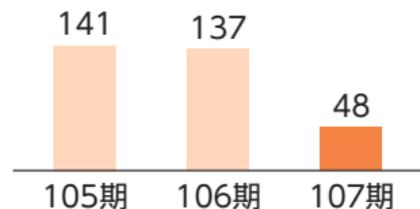
(単位：百万円)



セグメント利益

48百万円

(単位：百万円)



主な事業

■ 飲食店経営

■ 飲食物品等販売

■ マリーナの運営

飲食部門は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による営業時間の短縮や外出自粛要請により、極めて厳しい事業環境で推移しました。このような状況のなか、お客様が安心して利用できる店舗運営の徹底を図るとともに、テイクアウト商品の店頭販売や、デリバリー販売を実施する等、消費者ニーズへの対応に努めましたが、売上高は前期を大きく下回りました。

マリーナ部門は、『東京夢の島マリーナ』『浦安マリーナ』の両マリーナでの船舶係留数は年間を通し高水準で推移しましたが、マリンフェスティバル等のイベントの自粛、施設内の給油所における燃料販売の減少やバーベキュー場利用者の減少等により、売上高は前期を下回りました。

以上の結果、レジャー事業全体では減収減益となりました。

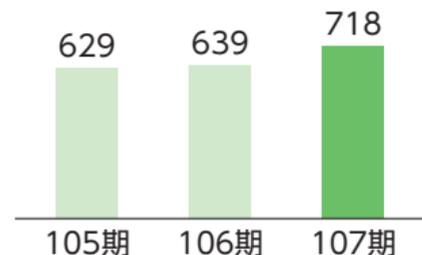


不動産事業

売上高

718百万円

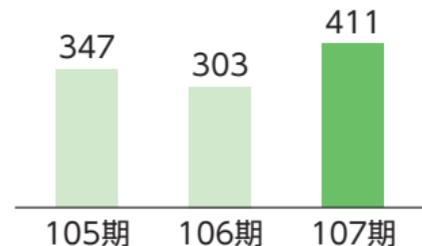
(単位：百万円)



セグメント利益

411百万円

(単位：百万円)



主な事業

■ 賃貸ビル

■ 賃貸倉庫

■ 賃貸駐車場

■ 土地の賃貸

不動産事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた一部テナントからの賃料減額要請に応じるとともに、商業ビルの共用部において感染予防策を徹底する等、テナントの安心・安全に配慮した物件管理に努めました。

また、当社の不動産戦略に則り、安定した収益が望める新規事業用地を取得し賃貸を開始したことにより、不動産事業は増収増益となりました。

なお、新規事業用地は、期中3月に兵庫県西宮市内に、同6月に神奈川県相模原市内に、同10月に広島県広島市内に取得し、それぞれ賃貸を開始しております。



吉祥寺スバルビル



盛岡パーキング

会社の概況

会社概要 (2021年1月31日現在)

設 立	1946年2月9日
資 本 金	1,331百万円
主要な事業所	47か所
従 業 員 数	228名(連結663名)
U R L	https://subaru-kougyou.jp/
本 社	〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 TEL 03-3213-2861 (代表)
関 西 支 社	〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西二丁目4番12号 TEL 06-6476-8801 (代表)
主な事業内容	道路および道路附帯設備の維持・清掃・補修工事の請負、 有料道路等の売店運営業務の受託、 橋梁・構造物等の設計業務、太陽光発電事業、 飲食・物販等の事業、マリーナの運営事業、不動産賃貸業

取締役 (2021年4月28日現在)

代表取締役会長	小 林 憲 治
代表取締役社長	永 田 泉 治
専務取締役	松 丸 光 成
常務取締役	堀 内 信 之
常務取締役	石 塚 泰
常務取締役	今 沢 宏 之
取締役	竹 島 美 喜
取締役	上 野 俊 明
取締役	大 西 政 樹
取締役	太 古 伸 幸
取締役	社外 独立 宮 家 邦 彦
取締役 (常勤監査等委員)	社外 遠 藤 信 英
取締役 (監査等委員)	社外 独立 野 元 三 夏
取締役 (監査等委員)	社外 独立 上 村 多 恵 子

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
(資産の部)		
流動資産	18,704	17,790
固定資産	11,850	14,029
有形固定資産	9,274	11,504
無形固定資産	621	540
投資その他の資産	1,954	1,984
資産合計	30,554	31,819

POINT
1

科 目	前 期	当 期
(負債の部)		
流動負債	4,550	4,289
固定負債	1,087	988
負債合計	5,638	5,277
(純資産の部)		
株主資本	24,825	26,453
その他の包括利益累計額	4	0
非支配株主持分	86	88
純資産合計	24,916	26,542
負債純資産合計	30,554	31,819

POINT
1

POINT
1

POINT
1

当連結会計年度末の総資産は、短期貸付金、保険積立金の減少等がありましたが、受取手形及び売掛金、未成工事支出金の増加、土地の取得等により前連結会計年度末に比べ1,265百万円増加となりました。負債は、支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少等により前連結会計年度末に比べ360百万円減少となり、純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ1,625百万円増加となりました。

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
売上高	27,211	27,460
営業費用	21,120	21,620
売上総利益	6,090	5,839
一般管理費	2,000	1,791
営業利益	4,090	4,048
営業外収益	46	78
営業外費用	6	5
経常利益	4,129	4,121
特別利益	612	251
特別損失	33	484
税金等調整前当期純利益	4,708	3,888
法人税、住民税及び事業税	1,558	1,365
法人税等調整額	△27	△113
当期純利益	3,177	2,636
非支配株主に帰属する当期純利益	0	1
親会社株主に帰属する当期純利益	3,177	2,635

POINT
2

POINT
2

POINT
2

POINT
2

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	前 期	当 期
営業活動による キャッシュ・フロー	3,543	2,923
投資活動による キャッシュ・フロー	△6	△1,959
財務活動による キャッシュ・フロー	△501	△1,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,035	△55
現金及び現金同等物の期首残高	7,402	10,438
現金及び現金同等物の期末残高	10,438	10,382

POINT
2

当連結会計年度の売上高は、道路関連事業24,792百万円、レジャー事業1,948百万円、不動産事業718百万円の合計27,460百万円(前期比0.9%増)となり、営業利益は4,048百万円(前期比1.0%減)、経常利益は4,121百万円(前期比0.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,635百万円(前期比17.1%減)となりました。

株式の状況 (2021年1月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数：4,000,000株

発行済株式の総数：2,662,000株

株主数：4,601名(前期比 692名増)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東宝株式会社	1,360	52.96
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	90	3.51
GOLDMAN SACHS & CO.REG	70	2.72
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	43	1.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	43	1.68
ROYAL BANK OF CANADA (CHANNEL ISLANDS) LIMITED - REGISTERED CUSTODY	28	1.08
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	19	0.76
東宝ファシリティーズ株式会社	16	0.66
株式会社日本カストディ銀行(信託口6)	16	0.63
大樹生命保険株式会社	15	0.58

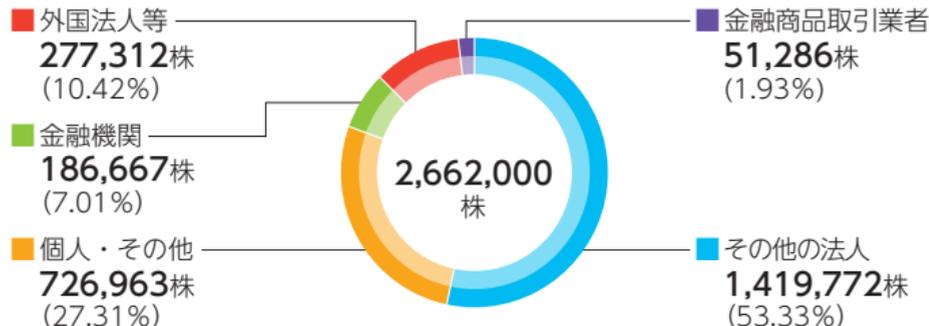
(注) 1. 当社は、自己株式92,792株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除し、小数点第2位未満を切捨てて表示しております。

株式分布状況

株主数



株式数



スバル興業75年のあゆみ



1961年

4月 飲食事業へ進出

1966年

4月 有楽町スバル座開館



2008年

4月 マリーナ事業へ進出



1946年

2月 会社設立
9月 丸の内名画座開館
12月 丸の内オリオン座・
丸の内スバル座開館

1964年

6月 道路維持管理事業へ進出

1985年

7月 東京・大阪証券取引所
第1部指定 (1949年上場)



当社ホームページにおいて、
75年史 (社史) を公開中です。

株主ご優待

TOHOシネマズ ギフトカード

TOHOシネマズでのチケット購入、
ご飲食、グッズ購入にご利用可能な
プリペイド式のカードです。



全国の『TOHOシネマズ』においてご利用可能

ご利用方法やご利用可能劇場については、
同封の「TOHOシネマズ ギフトカードのご案内」をご覧ください。

ご注意 有効期限あり：2021年5月1日 (土) より1年間ご利用できます。

株式保有数	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上
100株以上	2,000円分	3,000円分
200株以上	3,000円分	4,000円分
300株以上	4,000円分	5,000円分

継続保有期間3年以上とは、基準日(1月末日)の株主名簿に同一株主番号で連続して4回
以上記載または記録されていることといたします。

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
配当金受領株主確定日	期末配当金 1月31日、中間配当金 7月31日
基準日	定時株主総会 1月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル) (郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://subaru-kougyou.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

スバル興業株式会社

東京都千代田区有楽町一丁目10番1号
TEL 03-3213-2861(代表)

ホームページのご案内

<https://subaru-kougyou.jp/>



お知らせ

1. 単元未満株式の買取請求にかかる費用は無料です。

株主様がご所有の単元未満株式を当社にご売却いただくことができます。この場合の手数料については無料といたしております。

- 特別口座に記録された単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。
 - それ以外の単元未満株式の買取請求のお手続き
▶ 口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。
- ※・証券会社を通じてのお手続きで、所定の手数料がかかる場合があります。
・当社は単元未満株式の買増請求は行っておりません。

2. 特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録された株式については、単元未満株式の買取請求を除き、特別口座のままでは売買することができません。売買するためには、証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要となります。

- 特別口座から一般口座への振替のお手続き
▶ 三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

3. 配当金の受取方法について

ゆうちょ銀行または郵便局の窓口にて「配当金領収証」を持参し配当金をお受け取りする方法に代え、**銀行預金口座への振込**の方法がございます。お受け取りをお忘れになることもなく、安全で確実に配当金をお受け取りになれる銀行預金口座振込方式を是非ご利用ください。

- 配当金の振込指定のお手続き
▶ 口座を開設している証券会社または三菱UFJ信託銀行株式会社 TEL 0120-232-711(フリーダイヤル)へお問い合わせください。

